

初発の5大癌の UICC 病期分類別並びに 再発患者数

集計方法と定義

・UICC(国際対がん連号)の病期分類第7版により初発の患者さんについてはT(原発巣の大きさと進達度)N(リンパ節への転移)M(遠隔転移)の項目に該当する組み合わせにより病期(Stage)分類をしております。

重症度: Stage I < Stage IV

初発、再発とも延べ患者数

	初発					再発	病期分類基準 (*)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	22	11	-	14	-	-	1	7
大腸癌	16	18	27	15	-	33	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	34	16	68	115	-	73	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	11	1	7

* 1: UICC TNM 分類、2: 癌取り扱い規約

解説

・患者数 10 未満の症例は - となっております。

・特に当院では 呼吸器系(肺癌)の診療実績が目立ちます。

・Stage IV: 115 件、再発: 73 件については 外科的手術が不能(遠隔転移)のため抗がん剤治療、放射線治療目的の再入院が多いことによります。肺癌の化学療法実施率はⅢ期 92.65%Ⅳ期 75.65%再発 67.12%となっております。重症化すると実施率が低下する傾向が見られます。当院では地域がん診療連携拠点病院の認定を受けており、分子標的薬等個々の患者さんに合ったがん治療を推進しております。